

NO	日付	頁	基本目標／施策名	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
3	8月4日	3	第1章基本的な考え方	その他	本戦略においては、……の文章3行ですが、文章内容をイメージするのが難しく感じます。」で止める部分があって次に繋がるわかりやすい表現にはいかがでしょうか。	小塚 光子	総合政策課		ご指摘を踏まえ、「本戦略においては、各施策に数値目標を掲げており、庁内における進捗管理や有識者による外部評価における進捗管理を行うこととしております。それにより、行政内部の評価の妥当性・客観性を確保するとともに、市民視点での評価結果を行政運営に活かしていくこととします。」に表現を修正します。
21	8月3日	3	その他	その他	『少子化対策』、中でも『安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実』を、総合戦略を形作る中で、軸に据えてもいいのではないかと思います。『安心して結婚・出産・子育てできる環境を充実させていく』という視点から、基本目標としている『雇用創出のための産業振興』、『移住・安定対策』、『新たな地域社会の形成』それぞれの施策などを議論し組み立てていってもよいのではないのでしょうか。	保坂 英明	総合政策課		3頁の第2章1基本的視点に記載しているように、北秋田市総合戦略は県の総合戦略と同様の視点に沿った取組が有効であり、4つの基本目標はそれぞれに重要であると考えていることから、この構成で進めてまいりたいと考えております。 それぞれの目標の中で、中身をどう充実させるかを協議いただければと考えております。
31	8月3日	4	1雇用創出のための産業振興	イ数値目標	Ⅱ 地元雇用及び正規雇用者増加者数の現状値が15人となっていますが、どのような調査方法で算出されたのか教えて下さい。	藤田 幸紀	商工観光課		現状値15人は、平成26年度緊急雇用奨励金の対象者数をもって現状値としたものです。
14	7月29日	8	1－②林業の振興	ア現状や課題	『外材輸入による林業の構造的な不況が続いている』とはどのような事象をとらえているのか理解できない。 今年の林業白書によると国内生産（製材）に占める国産材の利用率は78%に達しており、丸太輸入量は昭和48年の1／10と減少しています。 国産材を生産しても、消費してくれる市場がないのです。 それは、住宅着工数の減少、丸太の価格低迷、林業家の意欲減によるものであると考えられます。意欲無くなった林家は丸太生産後の林地に植栽をしないことにつながり、林家戸数が減少するということになっているのではないのでしょうか？	福森 卓	農林課		「外材輸入による…」の文言を削除し、「木材価格の低迷による林業の構造的な不況が続いており、伐採後の再造林面積及び木材需要量が減少しているとともに…」と修正します。
15	7月29日	8	1－②林業の振興	イ取組方針	(1) 新規就業者の育成について、「市としても支援…」の文言がありますが、事業体の意向を十分に聞いた支援であってほしい。 必ずしも林業大学校卒業生を必要としないのでは？	福森 卓	農林課		「平成27年度開設の秋田県林業大学校並びに、林野庁、秋田県の新規就業者の雇用制度の情報提供を進めるとともに、市としても林業を再生して雇用に繋げるための支援を検討しながら、林業技術者を…」と修正します。
16	7月29日	8	1－②林業の振興	イ取組方針	(2) 森林保全育成の推進と林道作業道の路網整備について、9頁のウB「計画的な施行実施率」を100%にあげるのであれば、計画で上がってきている分の施策に掛る国や県を含めた造林補助金の確保をしてもらわなければならない。現状では補助金だけの事業であり、補助がでなければ施策できないのが現状である。 ・路網については今までたくさん整備されていると感じる。しかし、完成後の維持管理については十分だとは言えない。特段の配慮をお願いしたい。	福森 卓	農林課		国の予算配分により補助事業量の制約も想定されることから、B「計画的な施策実施率」の目標値を100%⇒80%と修正します。 【目標設定の考え方】についても、B「国の予算配分により補助事業量の制約も予想されることから、策定された計画が80%実施されることを目標として設定しました。」と修正します。 路線数が多く、市のみでは管理が不十分ことから、平成26年度からは受益者から成る団体に路網(林道等)の維持管理を実施していただく林道維持管理補助金制度により整備を行っております。

NO	日付	頁	基本目標／施策名	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
17	7月29日	8	1－②林業の振興	イ取組方針	(3) 森林資源の利活用推進について、公共建築物の木造化の取組みが、北秋田市は弱いのではないか？県が進めるウッドファーストの考え。木造で出せるものは木造で！！という考えを再度考えてもらいたい。 ・バイオマス利用については、現状では運賃や加工費に負けて所有者にお金を戻すという考えは難しい。バイオマス利用を考える前に、木製品輸出を含めて需要開拓をしなければならないと考える。	福森 卓	農林課		イ取組方針(3) 森林資源の利活用推進の一つ目の「県(市)産材の活用」を「県(市)産材を活用した木造化・木質化」に修正します。なお、公共建築物については、木造化も検討した結果、より条件の良い補助事業が採用されたケースもありますが、県産材利用推進方針や北秋田市木材利用方針に基づき、県と連携して公共建築物の木造化、木質化を引き続き推進します。 二つ目の文言を、木質バイオマスの利用促進による産業の活性化及び木製品の需要開拓や雇用の創出について取り組む観点から、「皆伐や除間伐等で切り出された木材の需要の開拓を図りつつ、木の皮や枝を…」と追加します。
18	7月29日	9	1－②林業の振興	ウ成果指標	C 目標値12名 林大卒業生にとらわれずこの地に林業をしに来てくれる人の支援をしてはどうか？ 4月から新卒でという市営住宅にも入れない。移住、人口増のカギになると考えます。	福森 卓	総合政策課 農林課		林大卒業生12名という数値は、「林業事業所への新規従業員数」の目標値設定のために引用した根拠(目安)であり、実際には林大卒業生のみならず一般の新規従業員数の増加に向けて取り組むことになります。なお、この【目標設定の考え方】については、実際の戦略には記載されません。 また、林業のみならず、新規採用で転入してくる方に対する住居の支援については、移住定住の促進の観点からも検討してまいりたいと考えます。 なお、市営住宅には、転入予定者も入居応募可能です。
19	7月29日	9	1－②林業の振興	ウ成果指標	D,E,Fについてはイの取組み(2)でも記載したが、補助金についてと路網の維持管理について配慮願いたい。 林業保育作業は、機械化が進まずほぼ手作業なのが現状です。経費イコール人件費といっても過言ではありません。 補助金については事業体の安定経営にもつながり、雇用創出・維持にもつながることを再度ご理解いただきたいです。	福森 卓	農林課		ご指摘を踏まえ、取組方針(2)の文言を、北秋田市森林整備計画に基づき、民有林については、国・県・市による整備補助を行い、 新植の補助 や、林齢にあわせた…とします。 また、森林経営計画の策定を森林所有者に働きかけ、国県の補助を活用し、 受益者との連携のもと に路網の整備、森林施業の集約化等…とします。 市有林、市行林及び林業専用道等については…除間伐等の施業及び路網の整備、 維持管理 を行って…とします。
20	7月29日	9	1－②林業の振興	工具体的な事業	林道維持保全事業 29年度計画がないのはなぜか？継続して行っていただきたい。	福森 卓	農林課		工具体的な事業は、平成26年度に作成した北秋田市総合計画実施計画(H27-29)に掲載されている事業であり、当該事業については作成当時に一定金額以上の事業が決まっていなかったので空欄となったものです。修繕を要する箇所については継続して対応する予定です。
26	8月3日	10	1－③商業の振興	イ取組方針	商店街及びイベントの集客について、一日のみにとどまらず、北秋田市に滞在して頂けるような、宿泊施設の充実化。北秋田市の宿泊施設のおもてなしの特色を生かす事に加え、どこかのホテルを誘致できないのでしょうか。現在ですと、大館市のホテルに流れている状況かと思われます。	野宮 加代子	商工観光課		団体客向けの宿泊施設建設の斡旋と、既存施設の増設への助成等を推進していきます。
27	8月3日	10	1－③商業の振興	イ取組方針	色々な政策がなされ、団体及び組織的に頑張っておられますが、市民の方々に情報が伝わっていないように思います。若い人たちを取り込み、教育の一環として幼稚園及び、小中高を地元のイベントなどに参加して頂き、一つのイベントで終わるのではなく、イベントと政策をコラボして発信及び情報を共有化出来ないのでしょうか。	野宮 加代子	総合政策課		各イベントの実施における小中高との連携については、主催団体等による積極的な取組を期待しておりますが、情報発信の一元化などによる取組は大変有効であり、主催団体との連携や情報共有に取り組んでまいりたいと考えております。 いろいろな場面でITの活用を求められていることを痛感しております。
30	8月3日	10	1－③商業の振興	イ取組方針	既存商店街の活性化は大変重要と思います。趣味としてやってきたことを仕事(商売)にできる場があることはいいことと思います。まだまだ元気な高齢者の方々も働ける場があると思います。	鈴木 玲子	商工観光課		店舗の賃借希望者に斡旋できるよう情報収集を行い、併せて、空き店舗利活用事業などにより起業者を支援し、空き店舗解消に繋げていきます。

北秋田市総合戦略会議委員からの意見と検討結果について

2015/8/19 現在

NO	日付	頁	基本目標／施策名	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
1	8月4日	11	1－③ 商業の振興	工具体的な事業	「中心市街地賑わい再生支援事業」 どのようなまちにしたいのか。ただ賑わいと言っても個性のない特長もないまちではこれからは成立しないのでは、他から若者を呼び込みたいのか、シルバーを呼び込むのか、あそこへ行けば一日楽しく過ごせるなどまちにテーマを持たせるか、メインになる商業施設など必要では。単なる賑わいでなく魅力や目的のあるまちづくりを！	奥田 実里	商工観光課		空き店舗を解消するため、新規起業家への助成金を交付しながら、中心市街地の商店街を古い店や新しい店が混在し、若者から高齢者が集える特色ある商店街としたい。
2	8月4日	12	1－④観光・レクリエーションの振興	その他	「打当温泉マタギの湯」 2月の西木村紙風船を見に行くとき見物後、打当温泉に泊まろうと思ったのですが夕方以降は駅までの迎えはないと言われ泊まれませんでした。集客できる沿線のイベント、行事に合せた対応が必要。	奥田 実里	商工観光課		イベント開催に合わせ、宿泊施設と情報共有を図っていきます。
4	8月4日	12	1－④観光・レクリエーションの振興	ア現状や課題	現状と課題の部分について、森吉山を中心にイメージアップ事業を計画されていますが、道路、特に奥森吉キャンプ場に繋がる市道の破損が著しいです。ここ2～3年全くバスは通れてないのでは？その部分の課題は大きいと思います。どこかに表現なされていますか。	小塚 光子	商工観光課		ア現状と課題に「観光エリアや施設への動線整備が最重要課題であり、整備、改良に向けた取組みについて粘り強く関係機関等との協議、要望活動が必要となっております。」と追加します。
32	8月3日	14	1－⑤工業の振興	ア現状や課題	「また、雇用については～いかに増やすか、また求職しても人が～」⇒「また、雇用については～いかに増やすか、ほかに募集（求人）しても人が～」ではいかがでしょうか。	藤田 幸紀	商工観光課		「求職」とは、雇用される側のことなので、事業主の立場で「募集」という文言に修正いたします。
33	8月3日	14	1－⑤工業の振興	イ取組方針	(4)雇用ミスマッチの解消で、優良事業所であることの情報発信は、現在どのように行っているのか教えて下さい。(参考：秋田県「平成27年度 地元企業魅力発見事業」)	藤田 幸紀	商工観光課		これまでも市産業祭でブースを設置してのPRや、生産性向上のため設備投資をしている企業等について、市長記者会見や広報紙等で情報発信しております。今後はハローワークたかのすと連携し、高校生を対象とした企業説明会を行うとともに、正確で迅速な求人情報を発信を行ってまいりたいと考えております。
9	8月3日	17	2－①移住・定住対策	イ取組方針	移住促進担当者を、本庁だけでなく合川、森吉、阿仁にも(義務でよいので)配置して、5～10年のスパンで職員を固定して取り組むと効果的だと思う。	大穂 耕一郎	総合政策課		移住定住については総合政策課が窓口となってワンストップで取り組んでいきますが、当課へのつなぎとしての相談窓口や情報提供などは、今までも総合窓口センターが行っており、今後もセンターと協力しながら取り組むことで相談窓口の充実を図ってまいります。
5	8月4日	20	3－①安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実	イ取組方針	各企業での子育てしやすい環境づくりの行動計画策定整備には市としてどのように保りますか？	小塚 光子	福祉課		「一般事業主行動計画」については、平成27年7月末現在、策定義務のある常時雇用労働者101人以上の企業19社中、19社が計画を策定しており、策定率は100%となっております。また、努力目標とされている常時雇用労働者100人以下の企業においても9社が策定している状況です。今後とも、働きやすい労働環境整備のため、計画策定を促して行くと共に、子育て環境の整備に取り組んでまいります。
6	8月4日	20	3－①安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実	イ取組方針	民間保育園や認定こども園等で子育て支援に対するサービスを充実することは重要と考えます。感染症やアレルギー、障害や気になる子、配慮を必要とする子が増えている現状にもあります。また保護者支援や職員の健康含め看護師や保健師の設置が必須だと思います。国では努力義務の位置づけであるため財政支援はありません。どこも、法人として工面はしています。体調不良児も年々増加、保育士の増員が必要、月曜～土曜までの勤務の中、振替休日や代休を実施するにも人材確保や財源支援がないとサービスは提供できない現実も在ります。早期から働く保育現場職員の健康を守り子育てと仕事の両立支援についてどう考えられるでしょう。	小塚 光子	福祉課		近年需要の多い「病児・病後児保育事業」の実施保育園拡充のため、市としても初期費用等に対する財政支援を検討したいと考えております。また、子どもの安心・安全のための保育環境整備に関する助成については、適宜検討してまいります。看護師・保健師の配置に対する財政支援については、今後の検討課題とさせていただきます。

北秋田市総合戦略会議委員からの意見と検討結果について

2015/8/19 現在

NO	日付	頁	基本目標／施策名	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
22	8月3日	21	3－①安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実	ウ成果指標	『E 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合』が県内でも高い水準にあるのは、どのような理由が分かるのでしょうか。その理由が分かれば、より『子育てしやすいまち』にしていくための施策も見えてくるのではないかと思います。	保坂 英明	福祉課		公立保育園・民間保育園とも、これまで積極的に各種特別保育事業を実施してきたこと、また、「わんぱく」などにおいて、子育て世代のニーズをとらえた事業を実施してきたことによると思われます。今後も、子育て世代のニーズを的確に捉えながら、それらに対応する施策を展開していきたいと考えております。
23	8月3日	24	3－②男女共同参画社会の実現	ウ成果指標	『女性管理職の割合が低い水準である』ということが気になります。女性就労率を高めていくことが地域活性化のためには必要であると思いますが、『子育てしやすいまち』と両立させていくことが重要であると思います。	保坂 英明	商工観光課	女性就労率を高める観点から検討願います	企業訪問の際に育児休業制度等について周知するとともに、実施について働きかけていきます。また、実施企業に対する支援制度も検討していきます。
11	8月3日	28	4－②生涯学習の充実	ア現状や課題	「生涯学習を特に行っていない市民は38.2%」とあるが、何かを行っている市民は61.8%となる。この数字は同じ人が複数の活動している延べ数ではないか。内閣府の類似の調査結果も同様か。「仕事や就職、趣味活動に」とあるが、高齢者が多いので、健康・生活・趣味等に、の方がいいのではないか。	福原 勝紀	総合政策課	市民意識調査の関連なので	市民意識調査では、生涯学習を「特に行っていない」の選択肢は単独回答となっております。（195名の回答中、1名だけそれ以外も選択）本意識調査は内閣府の調査を参考に質問を設定しておりますが、内閣府の調査結果も同様に考えられます。（個別データについては不明）ご指摘を踏まえ、「健康づくり、趣味活動を中心として・・・」に修正します。
29	8月3日	33	4－④地域防災体制の充実	イ取組方針	自主防災組織について、あまり知られていないのではないのでしょうか。組織を立ち上げても集落内でもあまり関心がないように思います。鷹巣地区の河川の増水が心配される地域においてはいかがなものでしょうか。	鈴木 玲子	総務課		自主防災組織は、自発的に自分たちの地域、隣人を守りあうための組織です。住民一人ひとりが危機管理意識を共有することが大事ですが、それぞれの地域において活発な取組を実施している自治会（自主防災組織）もあり、各地区により温度差があることも事実ですので、取組方針に示したとおり、機会を通じて市民の防災意識を高め、地域防災体制の充実を図ります。
7	8月3日	34	4－④地域防災体制の充実	イ取組方針	防災無線のない地区への設置が急務だと思う。また、防災無線で、観光客情報なども伝えるようにしてはどうか。	大穂 耕一郎	総務課		防災無線については、現施設の維持管理に努め、多様な情報伝達手段の導入を進めて、全市的な情報伝達手段の体制を整えてまいります。非常災害時における情報伝達手段として防災無線を構築しておりますことから、観光情報での運用は想定しておりませんのでご理解願います。
8	8月3日	35	4－⑤公共交通の維持・確保	イ取組方針	秋田内陸線は、地域の足としてだけでなく、観光客を角館から運んでくる重要な路線であり、観光ツールとしてしっかり位置づけてほしい。	大穂 耕一郎	内陸線支援室		秋田内陸線は乗客数の減少により、厳しい経営状況となっているが、当市の観光において角館は観光客を呼び込む基点ともなっており、角館からの観光客等の乗客の増加を図ることは、内陸線の経営安定にも必須事項と思われ、市民の重要な移動手段であるとともに、観光のツールとしても必要と考えております。以上の観点から、イ取組方針（1）秋田内陸線の利用促進の二つ目の文言に「また、観光客の利用促進や輸送手段としてのPRに努めます。」を追加します。
12	8月3日	37	4－⑥住環境の整備	イ取組方針	公営住宅等を計画的に立替えていく、とある。財政的には負債が多く建設予算の余裕はあまりないと思うが、市内には空き家・住める家も多い。この空き家をリフォーム等で（公営住宅等に）利活用する対策も、（2）と共に進めるべきと考える。	福原 勝紀	都市計画課		公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸する住宅を基本としており、住宅整備には国の補助金（補助基本額45%）活用しながら、計画的に進めているものです。空き家を市営住宅として利活用するには、空き家の取得費や修繕費（耐震補強を含む）、散在する一戸建の空き家の効率的な維持管理などを考えると困難であると考えております。また、空き家の利活用については、空き家バンク制度によるマッチングが有効と考えており、移住定住促進にもつながると考えておりますので、引き続き登録件数の増加に向けて取り組んでまいります。
10	8月3日	その他	その他	その他	若者の働く場が少なく、やむをえず県外に出て行かざるを得ない状況ではないでしょうか。空港が近い地の利を利用して、東京に本社の有る企業を誘致、未来の有る、若者をガッチリつかまえる。企業からの税収も望める。目新しい提案ではないですが、若者が残れる対策が必要だと思います。	津谷 良子	商工観光課		新規企業の誘致はもとより、既存企業を支援することで地元雇用の増大に繋がってまいります。また、ハローワークたかのすとの連携のもと、高校生を対象とした市内の企業説明会を開催し、進路の選択肢を広げるとともに、資格取得支援助成交付金を継続し、地元就職に繋がりたいと考えております。

北秋田市総合戦略会議委員からの意見と検討結果について

2015/8/19 現在

NO	日付	頁	基本目標／施策名	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
13	8月3日		その他	その他	総合戦略の内容は、上記2項目以外、基本計画の内容とほぼ同じで、具体的な事業だけが追加となっている。(特に触れていない?) そうすると、基本計画と併行して検討を進めて、後で差異を調整するのか、具体的な事業だけを追加検討するのか、それとも別な対応か。	福原 勝紀	総合政策課		総合戦略は総合計画の重点プロジェクトとして位置付けられていることから、総合戦略素案も基本的には総合計画の文言を引用して作成しております。 現在、総合戦略と総合計画の策定を同時に進行していることから、双方の意見等を情報提供しながら議論を深めていただき、それらをもとに策定につなげたいと考えております。なお、具体的な事業が載るのは総合戦略だけになります。
24	8月3日		1－③商業の振興	ア現状や課題	北秋田市情報発信事業は平成25年度より継続事業されておりますが、平成25年度より現在までの推移をお伺いいたします。北秋田市をより全国に発信する方法として、各家庭に一台以上は設置しているTVを使うことが、逸早く発信することができる手段だと思えます。(例:バター餅が全国的に有名になった事もTVがきっかけでした。)	野宮 加代子	商工観光課		「北秋田市情報発信事業」についての詳細は不明ですが、これまでも各種イベント時にはマスコミに対して情報提供してきましたので、今後も引き続きイベント情報提供していきます。
25	8月3日		1－③商業の振興	ア現状や課題	空店舗等利活用助成事業は平成25年度より継続事業されておりますが、平成25年度より現在までの推移をお伺いいたします。空店舗を利活用する者に賃貸料の一部を助成するだけではなく、シャッター通りをどのように活性化させたいのか、方向性をはっきり示したほうが良いのではと思います。(例:昔懐かしい街並みにするとか、外観店舗の特色など、またそこに行きたいと思わせる工夫。)	野宮 加代子	商工観光課		空き店舗利活用事業実績 H25: 4件、H26: 3件、H27: 3件 合計: 10件 空き店舗を解消するため、新規起業家への助成金を交付しながら、中心市街地の商店街を古い店や新しい店が混在し、若者から高齢者が集える特色ある商店街としたいと考えております。
28	8月3日		その他	その他	今後増える65歳以上の方達には、私も含め健康維持に努め元気に生活をしていきたいと思いますが、自分で自分のことが出来る状態であればシェアハウスも可能と思いますが、いずれ誰かの御世話になる時が来ると思います。その時の施設等の充実が必要だと思います。市がすべてを抱えていくことは大変だと思しますので、民間参入業者をもっと取り入れた政策は出来ないものではないでしょうか。	野宮 加代子	高齢福祉課		現在、「第6期介護保険事業計画(H27～H29)」の中である程度の整備を予定し、施設の充実を図ることになっておりますが、介護保険制度は公費の他に40歳以上の方々が納める介護保険料で賄っておりますので、たとえ民間事業者が施設を整備し、運営したとしても自動的に保険料の上昇につながります。したがって、市では介護保険を健全に運営するためにも、施設整備につきましては、公設・民設を問わず将来を見据えた上で、介護保険事業計画にしっかりと位置付けしております。 なお、当市では介護保険事業計画に位置付けした事業所(施設)に関しては、民間事業者からの応募によって、民間事業者自らが整備し、運営することを基本としております。
34	8月3日		その他	その他	北秋田市としての独自色(特徴)は、どここの部分に表現されていまずでしょうか	藤田 幸紀	総合政策課		森吉山を中心とした滞留型観光や伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録などを契機とした観光振興など北秋田市がもつ資源を活用した産業振興や、空き家バンク制度や住宅リフォーム補助金、奨学金支援制度を活用したワンストップでの移住定住促進、中学生までの医療費無料化など子育て世帯への支援をはじめとした生き育てやすい環境づくりなどに表されると考えております。